

2023年3月31日
農林中央金庫
農中信託銀行株式会社
JA三井リース株式会社

サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について ～JAバンク系統によるシンジケート・ローン～

農林中央金庫（代表理事理事長：奥 和登、以下「当金庫」）は、北海道信用農業協同組合連合会、茨城県信用農業協同組合連合会および静岡県信用農業協同組合連合会と協調し、JA三井リース株式会社（代表取締役 社長執行役員：新分 敬人、以下「JA三井リース」）との間でシンジケーション方式によるサステナビリティ・リンク・ローン（以下「本ローン」）契約を締結いたしました。本ローンは、当金庫グループ会社の農中信託銀行株式会社（代表取締役社長：高橋茂充、以下「農中信託」）がアレンジャーを務め、上記連合会3団体および農林中央金庫にてシンジケート団を構成します。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下「SPTs」）を設定し、貸付条件とSPTsの達成状況を連動させることで、借り手に目標達成に向けた動機付けを促し、環境・社会の面から持続可能な事業活動および成長の支援をしていくことを目指すものです。

JA三井リースは、サステナビリティ経営の推進にあたり、5つのマテリアリティ（重要取組課題）を特定したうえで、7つの重点取組およびKPIを設定しております。また、当該マテリアリティの1つである「カーボンニュートラルの実現に貢献」に向け、KPIに「再生可能エネルギー関連投融資額累計5,000億円（2021～30年度）」および「2030年度の温室効果ガス排出量50%削減（2021年度比）」を掲げております。2022年12月に「サステナビリティ・リンク・ファイナンス・フレームワーク」（以下「フレームワーク」）を策定して以降、フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローン調達を継続して実施しており、本ローンも当該フレームワークを適用いたします。

当金庫は、自らの存在意義（パーパス）¹の実現に向けた中長期目標の一つとして、2030年までにサステナブル・ファイナンスの新規実行額10兆円を掲げるなど、グループ会社やJAバンク会員等とも連携したうえで、サステナブル経営の実践にかかる取組みを進めており、JA三井リースが推進するサステナビリティ経営の方向性にも合致しています。本ローン対応を通じて、CO₂排出量削減をはじめとしたJA三井リースによる気候変動問題の解決に資する取組みを支援してまいります。

本件のSPTsは、JA三井リースが掲げる上記KPIの実現に向けた中間目標の達成状況が対象となります。なお、本ローンの契約に適用されるフレームワークに関しましては、サステナビリティ・リンク・ローン原則への適合性、および設定したSPTsの野心性について、株式会社日本格付研究所より2022年12月12日付で第三者意見を取得しており、上記SPTsについては、野心度および有意義性等の観点からサステナビリティ・リンク・ローン原則に適合していると評価されております。

¹ 農林中央金庫は、存在意義（パーパス）を「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」と定めています。

【本ローンの概要】

■ 組成方法	シンジケート・ローン
■ 実行日	2023年3月31日
■ シンジケート団	北海道信用農業協同組合連合会 茨城県信用農業協同組合連合会 静岡県信用農業協同組合連合会 農林中央金庫
■ エージェント	農林中央金庫
■ アレンジャー	農中信託銀行株式会社

【本ローンが貢献する主な SDGs】



【参考リンク】

J A三井リースのサステナビリティについて：

<https://www.jamitsuilease.co.jp/sustainability/>

株式会社日本格付研究所による第三者意見：

https://www.jamitsuilease.co.jp/assets/pdf/sustainability/sustainabilitylinkedfinance_framework_thirdpartyopinion.pdf

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 企画管理部 広報財務 IR 班 (宮澤・水元) TEL 03-6362-7172

農中信託銀行株式会社 営業開発部 TEL 03-5281-1430

J A三井リース株式会社 経営管理部 広報 IR 室 TEL 03-6775-3002